

# 二軸混練押出機 TEX25aⅢ

# DJK

One Stop Satellite  
Laboratories.

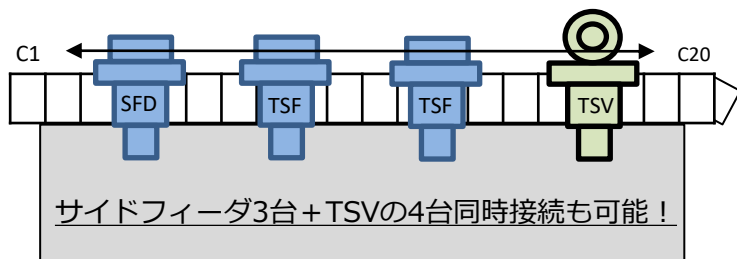


※2023年秋頃納入予定

TEX25aⅢ 装置仕様	
スクリュ径	Φ26.5 mm
L/D	70
最大トルク	387 N・m
スクリュ回転数	~960 rpm
付帯設備	サイドフィーダ 3台 (SFD 1台・TSF 2台) TSV(ベントスタッフア) 1台

## TEX25aⅢの強み

- ▶ 小型機ながら高トルク対応
- ▶ サイドフィーダを最大で3台同時に使用可能  
→ 高いフィラーの高充填試作  
→ 多種の材料を狙った位置で投入可能
- ▶ シリンダL/D=3.5となっており、  
S/Fの位置の変更・温調等細かい調整が可能
- ▶ シリンダ数が20あり、有効L/Dの調節が可能

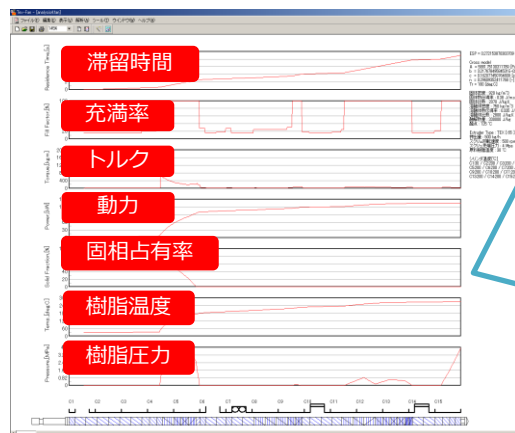


◆ 有効L/Dや投入位置、各シリンダごとの温度の調節により、反応押出にも期待が出来る

## シミュレーションソフト(TEX-FAN)による模擬テスト

TEX-FAN : 世界最大級の設備のノウハウが反映されているシミュレーションソフト

- ・ 材料情報とスクリュ構成から簡単に模擬テストが可能
- ・ 2成分系アロイ、フィラーコンパウンドにも対応
- ・ サイドフィーダ投入にも対応

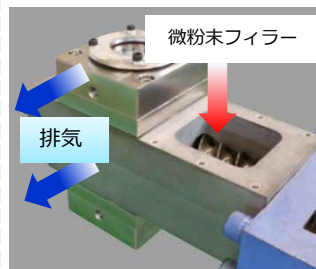


- ✓ スケールアップの予測・検討が可能
- ✓ 条件ごとにシミュレーション結果を重ねることが可能
- ✓ 3次元解析機能により、混練部での詳細な評価が可能

## SFD(脱ガス機構付きサイドフィーダ)

高密度の低い微粒子フィラーの投入に適したフィーダ

原料中に巻き込まれた空気を取り除くための排気ポンプが接続されており、SFD内で原料の高高密度化が可能



### メーカー実績例

処理量50%アップ!  
(PP+エラストマー+タルク30 wt%)

処理量58%アップ!  
(PBT+CB 30 wt%)

## 今後の展望

- ・ 様々な材料への応用性、反応押出にも期待